生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	関節リウマチ患者における椎体骨折有病率についての後ろ向き検討		
1. 研究の目的と方法	骨粗鬆症では比較的弱い外力によって脊椎骨折を起こしやすいことが分かっており、脊椎椎体骨折は生命予後に影響をあたえると言われております。また、関節リウマチでは骨粗鬆症を惹起しやすく、脊椎椎体骨折を特に起こしやすいと報告されています。この課題を解決するために、当院では骨粗鬆症検査のために胸腰椎単純X線を撮影した患者さんと当院で関節リウマチ治療を行っている患者さんにおける脊椎骨折（椎体骨折）の有無を比較します。関節リウマチ患者さんにおける骨代謝異常の病態を把握するために、東京慈恵会医科大学附属病院、第三病院整形外科の症例を用いて検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院、附属第三病院にて 2018 年 3 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の 7 年 1 か月の間で、当院で胸腰椎単純X線を撮影した患者さんのうち、血液検査、骨代謝マーカー、骨密度検査を行った方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、罹病期間、使用薬剤の種類・量、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、骨密度検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　整形外科学講座
		氏名	斎藤　充
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤　千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　整形外科学講座　山下　祐 東京慈恵会医科大学附属第三病院　整形外科　前田　和洋	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 6 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　整形外科学講座 研究責任者：教授　斎藤　充（さいとう　みつる） 窓口担当者：非常勤医師　銭谷　麻美（ぜにたに　あさみ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3441） 対応時間：平日 9：00　～　17：00 機関名：東京慈恵会医科大学附属第三病院　整形外科学 窓口担当者：講師　前田　和洋（まえだ　かずひろ） 電話番号：03-3480-1151（内線 3271） 対応時間：平日 9：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。